

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【公開番号】特開 2020-191260 (P2020-191260A)
 【公開日】令和 2 年 11 月 26 日 (2020.11.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-048
 【出願番号】特願 2019-96854 (P2019-96854)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 43/01 (2006.01)

G 0 1 R 31/66 (2020.01)

【 F I 】

H 0 1 R 43/01 Z

G 0 1 R 31/04

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 9 月 27 日 (2021.9.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 8 】

図 4, 5 に示すように、端子金具 3 0 は、左右対称な左前板部 4 4 (請求項に記載の前板部) と右前板部 4 5 とを有する。左前板部 4 4 は、左側板部 3 3 (弾性接触片 4 0 が連なる基板部 3 2 とは別の板状部) の前端縁から左側板部 3 3 と直角に右方へ片持ち状に延出している。右前板部 4 5 は、右側板部 3 4 (弾性接触片 4 0 が連なる基板部 3 2 とは別の板状部) の前端縁から右側板部 3 4 と直角に左方へ片持ち状に延出している。正面視において、左前板部 4 4 と右前板部 4 5 は、筒部 3 1 の左右方向中央部で互いに間隔を空けて左右に並んでいる。左前板部 4 4 と右前板部 4 5 は、いずれも、弾性接触片 4 0 の前端 (折返部 4 1) よりも前方に位置し、弾性接触片 4 0 の少なくとも折返部 4 1 を前方から覆うように保護している。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 4 6 】

[実施例 2]

本開示を具体化した実施例 2 を、図 6 を参照して説明する。本実施例 2 は、端子金具 5 0 の左前板部 5 1 (請求項に記載の前板部) と右前板部 5 2 を上記実施例 1 とは異なる構成としたものである。その他の構成については上記実施例 1 と同じであるため、同じ構成については、同一符号を付し、構造、作用及び効果の説明は省略する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 4 7 】

左前板部 5 1 は、左側板部 3 3 の前端縁から左側板部 3 3 と直角に右方へ片持ち状に延

出している。右前板部 5 2 は、右側板部 3 4 の前端縁から右側板部 3 4 と直角に左方へ片持ち状に延出している。左側板部 3 3 からの左前板部 5 1 の延出寸法は、右側板部 3 4 からの右前板部 5 2 の延出寸法よりも小さい。即ち、左前板部 5 1 と右前板部 5 2 は、左右非対称である。左前板部 5 1 と右前板部 5 2 は、筒部 3 1 の左右方向中央よりも左方において、互いに間隔を空けて左右に並んでいる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

[実施例 4]

本開示を具体化した実施例 4 を、図 8 を参照して説明する。本実施例 4 は、端子金具 6 0 の左前板部 6 1（請求項に記載の前板部）と右前板部 6 2 を上記実施例 1 とは異なる構成としたものである。その他の構成については上記実施例 1 と同じであるため、同じ構成については、同一符号を付し、構造、作用及び効果の説明は省略する。